

命の木としてのキリストを経験し享受し、命の木としてのキリストを成長させ、

召会の木を植えて、命としての三一の神の団体の表現とならせる

聖書：創 2:9. ヨハネ 11:25. 15:1. エペソ 4:15. コロサイ 2:19. 啓 1:11-12, 20

**I. イエスの証しとしての召会の宇宙的な拡大のために、わたしたちは命の木としてのキリストを経験し享受する必要があります——創 2:9. 啓 2:7 :**

- A. 創世記第 2 章 9 節にある命の木は、食物の形における人の命としての、キリストの中に具体化された三一の神を表徴します。
- B. わたしたちはわたしたちの再生された霊の中で、命の木としてのキリストを経験することができます。召会、王国、新エルサレム、すべての霊的で天的な事柄は、命の木を経験した結果です——ヨハネ 11:25. 15:1。
- C. 命の木を食べる、すなわち、わたしたちの命の供給としてのキリストを享受することは、召会生活における主要な事柄であるべきです——啓 2:7 :
  - 1. 召会生活のために、わたしたちは命の木としてのキリストを食べる必要があります——ヨハネ 6:57 後半。
  - 2. ヨハネによる福音書に啓示されたすべてを含むキリストのすべての面は、命の木の結果です—— 1:51. 3:29 前半. 6:32-35. 8:12. 10:11. 14:6。
  - 3. 召会生活の内容は、キリストの享受にかかっています。わたしたちが彼を享受すればするほど、その内容はますます豊富になります——エペソ 3:16-19。
  - 4. 命の木としてのキリストを享受することは、わたしたちが初めの愛をもって彼を愛することを要求します。すべてのことで主に第一位を与えることは、初めの愛、最上の愛をもって彼を愛することです——啓 2:4. コロサイ 1:18。
- D. 啓示録第 22 章 1 節から 2 節に、命の水の川と命の木があります :
  - 1. 命の木は命の水の中にあるので、命の木を享受する道は命の水を飲むことです——ヨハネ 4:14. イザヤ 12:2-6。
  - 2. 命の木の本质は命の水の中にあります。ですから、命の木としてのキリストを享受するために、わたしたちは命の水の川から飲まなければなりません——ヨハネ 4:14. 7:37. I コリント 10:4. 啓 22:1-2, 17 後。
- E. 命の木の原則は、神に依り頼むことです。命の木を経験し享受することは、わたしたちが神に依り頼むようにさせます——ヨハネ 15:5。
- F. 主は召会を初めに回復し戻す、すなわち、命の木を食べることに回復し戻すことを願っています——創 2:9. 啓 2:7. 22:14。

**II. イエスの証しとしての召会の宇宙的な拡大のために、わたしたちは内側の命の木としてのキリストを成長させる必要があります——コロサイ 2:19. ヨハネ 11:25. 15:1 :**

- A. 神の具体化としてのキリストは、わたしたちの命の木です。この木はわたしたちの中で生長しつつあります——コロサイ 1:27. 2:9, 19. 3:4。
- B. 神はキリストの中で、ご自身を命の種としてわたしたちの霊の中にまいて、木を生長させました。この木は命の木の縮図です——マルコ 4:2-8, 26-29。
- C. 創世記第 2 章 9 節で、命の木は唯一でしたが、今日、命の木はわたしたちすべての

中で生長し、わたしたち各自を一本の小さな命の木とします。小さな命の木として、わたしたちは命において成長する必要があります——Ⅰコリント 3:6-7. エペソ 4:15-16. Ⅱペテロ 1:5-11。

Ⅲ. イエスの証しとしての召会の宇宙的な拡大のために、わたしたちは「召会の木」を植えて、命としての三一の神の団体の表現とならせる必要があります——ヨハネ 5:26.

11:25. Ⅰヨハネ 5:11-12. ローマ 8:2. Ⅰコリント 1:2. 啓 1:11-12, 20 :

A. 神の目に、宇宙召会、すなわちキリストのからだは形成されました。今や、この宇宙召会を全体的な実体として形成した後、召会を拡大する必要があります——使徒 8:1. 9:31 :

1. 諸地方召会は設立されるのであって、形成されるものではありません。使徒パウロは召会を植えることができ、アポロは召会に水を注ぐことができましたが、それを形成し、それに命を与えたのは神です。そしてそれを成長させてくださるのは神です——Ⅰコリント 3:6-7。

2. 召会を拡大し、召会を設立する道は、それをある地方にもたらし、それを植えることです——ローマ 16:5 前半. コロサイ 4:15。

B. わたしたちは召会を形成することはできませんが、地の果てにまで行って地方召会を設立する地位、権利、機会、使命をさえ持っています——使徒 1:8. 13:1-3. ガラテヤ 1:2. 啓 1:11。

C. わたしたちが今日、行なっていることは、「召会の木」を植えることによって、さまざまな地方で諸召会を設立することです。この召会の木を植えることは、召会を設立することです——Ⅰコリント 1:1-2. Ⅰテサロニケ 1:1。

D. 召会の木としての諸地方召会は金の燭台です。金の燭台は、実は生ける金の木です——啓 1:11-12, 20 :

1. 金の燭台は、キリストの複製またその霊の複写としての諸地方召会を表徴します——出 25:31-40. ゼカリヤ 4:2, 6, 10. 啓 5:6. 1:11, 20。

2. しるしにおいて、金の燭台は、三一の神の具体化また表現としての召会を表徴します——11-12 節。

3. 諸地方召会の聖徒たちとして、わたしたちはみなすばらしい金の木の一部分です。

4. 金の燭台のしるしは、三一の神が生ける木であり、生長し、つぼみを付け、花を咲かせることを示します。燭台の描写は生長の思想を伝達します——出 25:31-32.

エペソ 4:14-16 :

a. 燭台は枝を通して、枝の内側で成長しつつあります。これは、キリストがわたしたちの中で成長しつつあることを示します——コロサイ 2:19. ヨハネ 3:29 前半, 30 前半。

b. すべての枝が燭台に、それらの中で、それらを通して成長する自由な道を与えることは極めて重要です——エペソ 4:15-16。

c. 燭台が枝の中で成長すればするほど、ますますそれは開花し、輝き、ますます光があるようになります——15 節. 5:8-9。

5. 召会の木を植えることは、金の燭台としての地方召会を設立することです。

E. わたしたちの負担は、木としての召会をあらゆる都市、町、村にもたらし、召会を

そこに植えることです——使徒 8:1. 13:1. コロサイ 4:15-16 :

1. わたしたちはみな忠信になってその負担を実行し、召会をそこに植えることによって地方召会を設立する必要があります——ローマ 16:16 後半. ガラテヤ 1:2. I テサロニケ 1:1. 2:14。
2. 結婚した夫婦はプリスカとアクラのようになるべきです。彼らはどこに行っても、召会をそこに植えました。彼らはどこにいても、彼らの家を開くことによって、進んで召会の実行の負担を担いました——ローマ 16:3-5 前半. I コリント 16:19。
3. わたしたちがみな召会の木を植えることによって、召会を設立する願いを持つなら、諸召会の設立はとても速くなり、普及していくでしょう——使徒 19:20。

© 2009 *Living Stream Ministry*